



能登半島地震被災地へ給水車を派遣

概要	令和6年能登半島地震の被災地支援に関し、1月24日（水）から給水車を派遣し、飲料水や生活水の支援を行います。
経緯	発災当初から断水が続いていることを受け、日本水道協会から要請があり、給水活動を行います。 ※日本水道協会は、浄水や配水など、水質・水道全般に関わる問題について検討する組織として、昭和7年5月12日に設立。全国の水道事業者が会員。7地方支部、46都府県支部、5北海道地区協議会を組織。
内容	神奈川県からは座間市の他、横浜市、川崎市、県企業庁、横須賀市、小田原市、秦野市が、石川県志賀町で給水活動を行います。 ※座間市、横須賀市、小田原市、秦野市は、1グループとしてローテーションを組み、交互に活動し、中・長期にわたり支援を行う予定。 ※横浜市、川崎市、県企業庁は常時活動。
スケジュール	第1次派遣 1月24日（水）午前8時 市役所ロータリー出発 1月25日（木）～28日（日） 活動 1月29日（月） 帰庁
派遣	給水車1台（2人） サポートカー1台（2人） ※サポートカーは資機材などの積み込みに使用。
問い合わせ先	上下水道局 経営総務課 経営係 TEL 046（252）7480 FAX 046（257）4155

